

令和5年度 富士見市生涯学習推進アクションプラン

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	避難行動要支援者支援事業	災害時自力避難が困難な高齢者、障がい者等（登録者）の支援内容を市・町会・民生委員等で共有し、地域における助け合いを推進していく。 数値目標：	平常時より要支援者情報を関係機関・民生委員・町会等が共有し、迅速に安否確認及び避難行動要支援等を行える体制を市民と協働で取り組み、地域ごとに整備する。 継続年数：5～10年 事業予算額：168,000円	1. 避難行動要支援者支援事業登録者の登録内容の更新作業（町会、民生委員へ協力依頼）：令和5年12月～令和6年1月 2. 登録者リストの更新作業（事務局） 3. 更新済みリストの配布（町会、民生委員）：令和6年4月	災害時に自力避難が困難な方（避難行動要支援者）の情報を、事前に避難支援関係者間で共有しておくことで、災害時の迅速な避難誘導や安否確認が可能となり、地域での支え合いや防災力の向上に資する事業となっている。一方で、要支援者を支える支援者側の高齢化や、担い手の確保が困難になっているなど課題も多く、制度自体の見直しが必要となってきている。また、本事業の趣旨と生涯学習の関連性が薄いため、アクションプランへの掲載は今年度で終了とする。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	福祉政策課					取組成果	C	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					1 見直しが必要である		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続	
第3次富士見市地域福祉計画								